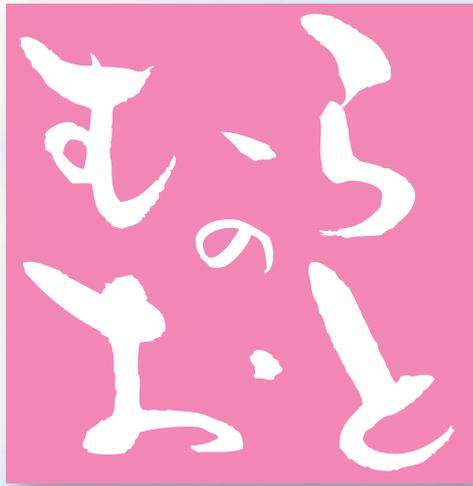


“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信



季刊誌「むらのおと」vol.9



特集

邑むらが教えてくれた

しあわせ スイーツ

- 岩本山とかりがね堤を守る邑(富士市)
- 大沢地区(静岡市)
- 湯日(島田市)
- 地名(川根本町)
- 東山口・西山口(掛川市)
- いっぶく処横川(浜松市)

大学生体験レポート
竜ヶ石山～西四村の里～(浜松市)

茶文字の里 東山(掛川市)

インタビュー
石部赤根田村百笑の里(松崎町)
袖野の里(富士宮市)

邑ジャーナル
イベントカレンダー





ふじのくに 美しく品格のある 邑むらって？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝（資源）」があります。

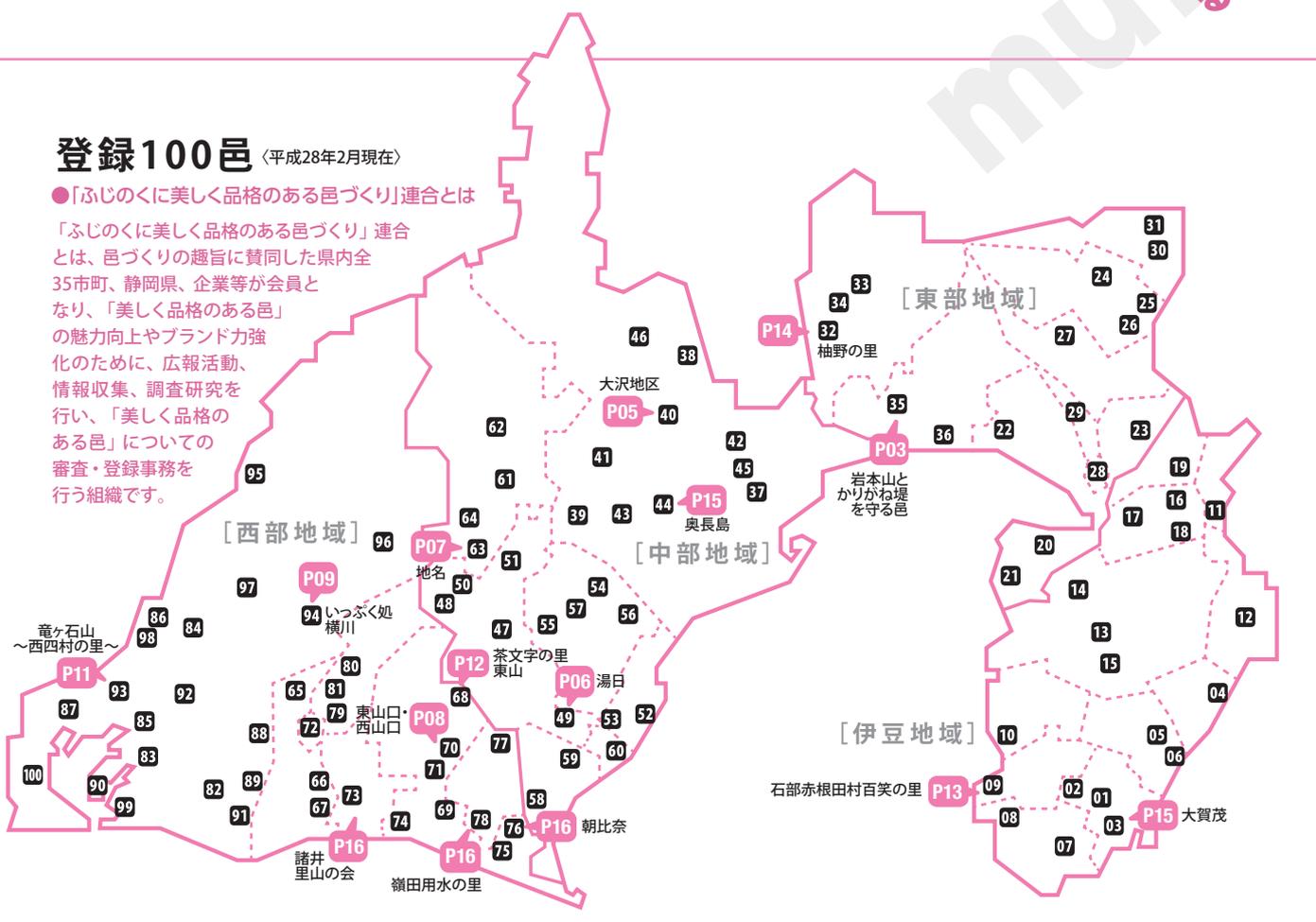
「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域（邑）です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、平成28年2月現在で100地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。

登録100邑（平成28年2月現在）

●「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県、企業等が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。





vol.9
2016
春

CONTENTS

特集

邑が教えてくれた
しあわせ
スイッチ



徳山(川根本町)／黄菖蒲(5月下旬頃)と大井川鐵道のSL

- 35 岩本山とかりがね堤を守る邑(富士市) — 03
- 40 大沢地区(静岡市) — 05
- 49 湯日(島田市) — 06
- 63 地名(川根本町) — 07
- 70 東山口・西山口(掛川市) — 08
- 94 いっぶく処 横川(浜松市) — 09

邑びとvoice — 10

大学生体験レポート

- 93 ~竜ヶ石山~西四村の里(浜松市) — 11
- 98 茶文字の里 東山(掛川市) — 12

インタビュー

- 99 石部赤根田村百笑の里(松崎町) — 13
- 92 柚野の里(富士宮市) — 14

邑ジャーナル

- 93 大賀茂(下田市) — 15
- 44 奥長島(足久保)(静岡市)
- 73 諸井里山の会(袋井市) — 16
- 76 朝比奈(御前崎市)
- 78 嶺田用水の里(菊川市)

イベントカレンダー — 17



表紙／石部赤根田村百笑の里(松崎町)

「子どもに夢を、老人に生きがいを！」を合言葉に、耕作放棄されていた棚田を復元。石部地区棚田保全推進委員会を中心に、棚田オーナー、ボランティア、企業、学校などが協力して美しい棚田景観を守っています。

周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、100の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはず。

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。

- 66 とんぼの里 岩井(磐田市)
 - 67 田原地区(磐田市)
 - 68 茶文字の里 東山(掛川市)
 - 69 高天神の里(掛川市)
 - 70 東山口・西山口(掛川市)
 - 71 掛川天守をのぞむ里(掛川市)
 - 72 源氏とひまわりの里(袋井市)
 - 73 諸井里山の会(袋井市)
 - 74 とうもんの里(掛川市・袋井市・磐田市)
 - 75 カカシ祭りの里 新野(御前崎市)
 - 76 朝比奈(御前崎市)
 - 77 千框の棚田(菊川市)
 - 78 嶺田用水の里(菊川市)
 - 79 森町南部(森町)
 - 80 天方(森町)
 - 81 一の宮の里(森町)
 - 82 地域いきいき共生！
恩地町環境みどり会(浜松市)
 - 83 和地ふるさと会(浜松市)
 - 84 夢未来くんま(浜松市)
 - 85 銅鐸と水田のふるさと中川(浜松市)
 - 86 大好き浜川(浜松市)
 - 87 三ヶ日みかんの里(浜松市)
 - 88 中郡地区(浜松市)
 - 89 中ノ町地区(浜松市)
 - 90 村櫛地区(浜松市)
 - 91 大塚地区(浜松市)
 - 92 都田地区(浜松市)
 - 93 竜ヶ石山~西四村の里~(浜松市)
 - 94 いっぶく処 横川(浜松市)
 - 95 そばの里づくり佐久間(浜松市)
 - 96 はるの山の楽校(浜松市)
 - 97 ほっと龍山(浜松市)
 - 98 ひずるしい鎮玉(浜松市)
 - 99 らびりんすゆうとう(浜松市)
 - 100 新所水とみどりのプロジェクト(湖西市)
 - 34 南条の里(富士宮市)
 - 35 岩本山とかりがね堤を守る邑(富士市)
 - 36 富士山のふもと郷を守る邑(富士市)
- ◇中部地域
- 37 原・新丹谷(静岡市)
 - 38 有東木(静岡市)
 - 39 清沢(静岡市)
 - 40 大沢地区(静岡市)
 - 41 奥糞科・大川(静岡市)
 - 42 清水区西里(静岡市)
 - 43 水見色(静岡市)
 - 44 奥長島(足久保)(静岡市)
 - 45 布沢(静岡市)
 - 46 大代(静岡市)
 - 47 神座鶴網(島田市)
 - 48 越地(島田市)
 - 49 湯日(島田市)
 - 50 抜里(島田市)
 - 51 さざま(島田市)
 - 52 中の島(焼津市)
 - 53 西島(焼津市)
 - 54 殿(藤枝市)
 - 55 本郷(藤枝市)
 - 56 岡部本郷(藤枝市)
 - 57 葉梨山水会(藤枝市)
 - 58 菅山原(牧之原市)
 - 59 坂部(牧之原市)
 - 60 吉田たんぼ(吉田町)
 - 61 徳山(川根本町)
 - 62 池の谷・閑蔵(川根本町)
 - 63 地名(川根本町)
 - 64 けっこい瀬平(川根本町)
- ◇西部地域
- 65 敷地村(磐田市)

- ◇伊豆地域
- 01 下大沢(下田市)
 - 02 加増野(下田市)
 - 03 大賀茂(下田市)
 - 04 大川(東伊豆町)
 - 05 上佐々野わくわくの里(河津町)
 - 06 伊豆見高入谷高原(河津町)
 - 07 日野 元気な百姓達の里(南伊豆町)
 - 08 伊浜地区(南伊豆町)
 - 09 石部赤根田村百笑の里(松崎町)
 - 10 中(西伊豆町)
 - 11 日本一のだいたいの里「多賀」(熱海市)
 - 12 十足(伊東市)
 - 13 伊豆月ヶ瀬梅の里(伊豆市)
 - 14 桂流コンヒカリのふる里(伊豆市)
 - 15 いずのやね茅野(伊豆市)
 - 16 葦山多田(伊豆の国市)
 - 17 葦山金谷(伊豆の国市)
 - 18 浮橋(伊豆の国市)
 - 19 丹那(函南町)
- ◇東部地域
- 20 寿太郎みかんのふるさと 西浦(沼津市)
 - 21 戸田(沼津市)
 - 22 浮島(沼津市)
 - 23 三島箱根西麓地区(三島市)
 - 24 西澤水系(御殿場市)
 - 25 沼田ロマンチック街道(御殿場市)
 - 26 二子湧水の里(御殿場市)
 - 27 パノラマ遊花の里(裾野市)
 - 28 久米田(清水町)
 - 29 上長窪地区(長泉町)
 - 30 所領(小山町)
 - 31 金太郎産湯の里湯船(小山町)
 - 32 柚野の里(富士宮市)
 - 33 白糸の里(富士宮市)



シバザクラの植栽や草取りには、女性陣の力を借りて。岩本山の梅やサクラのあとには、白とピンクの花が咲き誇り、長い春を演出してくれます



邑が教えてくれた しあわせ スイッチ



特集

しあわせな時間と場所が邑にはある。
誰もがもっている心のスイッチ。
邑びとたちは、しあわせになるための
スイッチの在り処を知っています。



幅広い年齢の人々が活躍！ 富士山と季節の花が美しい邑



岩本山と かりがね堤を守る邑

いわもとやまとかりがねつつみをまもるむら

富士市岩本

- 車／東名高速富士ICから約20分
- 電車／JR富士駅からコミュニティバス（月～土曜日運行）利用



1. 花作りが得意な人からアドバイスをもらいながら、会のみんなで花の植栽にいそしんでいます。

2/3. 農道のメンテナンスもしっかりと。秋、農道沿いにはコスモスが咲き誇ります。

4. 7月に花盛りを迎えるひまわり畑。

美しいわが邑を
もっと美しく。
その願いが原動力

富士市岩本を流れる富士川は、日本三大急流の一つ。大昔から幾度となく洪水に見舞われてきたこの流域では、命と暮らしを守るため、古くからさまざまな努力を重ねてきました。そのひとつが難工事の末に完成した「かりがね堤」。洪水を防ぐため、水を遊ばせ、流れを柔らかく受け止めることのできる大堤防を築いたので。その長さは、岩本山の山裾から河口までおよそ4・7キロ。その形が群れをなして飛ぶ雁の姿に似ているからこの名前がついたそうです。

そんな歴史を持つ岩本山の麓、岩本・松岡地区で活動しているのが「岩本山とかりがね堤を守る会」で、農用地や農業用水路の管理などに取り組んでいます。特に力を注いでいるのが、耕作放棄地の再生。「最近、岩本山は梅や桜の名所として知られるようになってきました。季節の花を愛でに来るのに、その周りの農地が荒れ放題ではガッカリされるんじゃないか」と思い、花を育てたり、そばを育てたりし始めたんです」と会

長的小林勲さんが教えてくれました。これまで、土地の持ち主二人ひとりに許可を得て再生した耕作放棄地の面積はおよそ35アール。春にはシバザクラの絨毯、夏は一面のひまわり畑が訪れる人の目を楽しませ、冬にはそばを収穫し介護センターや幼稚園、保育園へ手打ちそばを振る舞う活動などをしていきます。活動には、30〜70代と幅広い年齢層の人々が参加。「兼業農家の若者が『どうやって上手に栽培できるか』と年長者にアドバイスを求めたり。そんなコミュニティ作りの一端も担っています」と小林さん。地域の中でお互いを敬い助け合いながら成長していく。こは、和気あいあいとした、活気のある邑なのです。



世代を超えた交流、 縁側カフェで繋がる伝統と人



1. 新茶の手摘み。静岡の中でも最も歴史が古い「本山茶」の産地。ぬるめのお湯でもおいしい品種「おくひかり」などを栽培。 2. 山々に囲まれた大沢地区。茶葉の収穫量は少ないものの、適した気候と水により質の高いお茶が育ちます。

笑顔を作る出会いを
これからもずっと

「新でお風呂を焚いていると話すよ、若い人は驚くんですよ。そう語る邑人、内野えつ子さんが暮らすのは、静岡市街から車で1時間ほどの距離にある玉川地区大沢。標高340メートル、年間の最低気温マイナス5度。寒暖の差が激しく深い霧が降る大沢の地には、香り高く味の引き締まった上質な茶葉が育ちます。その旨味の濃い緑茶をもっと知ってもらおうと、大沢振興会代表の内野昌樹さんの発案で3年前に動き出した企画が「縁側カフェ」です。家庭の縁

側を一般に開放し「自ら育てたお茶でもてなしを」と、手さぐりでの運営がスタートしました。

衛生面の講習、勉強会、既に縁側カフェを行っている他の地域への見学など、安全とサービスを考慮した準備期間は一年半にも及んだといいます。看板やトイレを設置、案内状を自分たちのアイデアで作り、情報配信のためSNSやパソコンの使い方も学んできました。毎月第2・第4日曜日、縁側カフェがスタートすると、口コミで広がり評判に。美しい景色とおいしいお茶、温かい地元の人たちとの触れ合いに、県外のファンも増えていきました。今では23世帯しかない小さな集落に1日最高400人以上も訪れる大イベントに成長しました。

お休み料300円で提供されるのは、甘みのある地元野菜、手作りのこんにやくや味噌、お茶を使ったお菓子など。邑の半分以上が茶農家なので、それぞれの工場で作られたお茶を「はじか」しながら楽しめるのが醍醐味です。

「出会いは笑顔を作りますよね。長く続けていかなければ」と内野さん。暮らしに伝統を残しつつ、人との繋がりににはオープンな風を通していこうとする大沢の人々。若い世代をも惹きつける活力と笑顔は、ますます広がっていくことでしょう。



大沢地区

おおさわちく

静岡市葵区

- 車/JR静岡駅から約50分。県道27号線を北へ約20km
- 電車/しずてつバス安倍線横沢行き-大沢入口バス停から徒歩約20分

伝統製法を継承する緑茶のほか、最近ではミントティーやレモンバーム、紅茶などの製造にも挑戦中



3. 邑内の茶農家が集まり毎年品評会を開催。競争意識を持ち、研究を重ねていることが、旨味の深い茶葉の製造に繋がっています。 4. のぼりが立っている家が、縁側カフェ開催の目印。看板やのぼりを立て、来客案内をスムーズに。スタンプラリーもあり、各屋号のスタンプを8つ集めると景品を贈呈するというサービスも。 5/6. ほのぼのとした縁側でのくつろぎ。学生たちも多く、おばあちゃんたちとの賑やかな会話が弾んでいます。 7. 縁側カフェのお茶請け。地元ならではの季節の味が添えられた、素朴な手作りのもてなし。



1. 富士山静岡空港に隣接する道路の沿道に芝桜を植えています。大人と一緒に作業に励む子どもの姿も。
2. 邑には蛍が棲息する沢があります。その沢に炭を敷設して水質を向上しようと、邑の有志たちが炭焼き小屋を建てたのが平成9年のこと。今では小学生を招いての炭焼き体験教室も行われ、邑人たちの大切な交流の場となっています。



美しいだけでなく、誇りに思える邑々を目指して

自治会やNPO法人、教育施設とも連携



湯日

ゆい 島田市湯日

- 車 / 東名高速吉田ICから県道34号線を経て230号線を富士山静岡空港方面へ約10分
- 電車・バス / JR六合駅からコミュニティバス・湯日線本村行きに乗り、「ふれあいセンターバス停」にて下車。

島田市湯日地区は大井川沿い、富士山静岡空港の北側に位置します。ここは茶処としても有名なエリア。5集落にまたがって280ヘクタールもの大茶園が広がっています。どこまでも続く茶畑に、その間を縫うように流れる湯日川、邑を見守る山々…。そんな里山の原風景を残す邑をただ守るだけでなく、「もっと美しい里にしよう」と活動を行っているのが「湯日美里会」です。

同会の発足は平成21年。農業従事者と非農業従事者あわせて約40名のメンバーが、農業用施設の点検・補修をはじめ、湯日川周辺の草刈り、初期消火を図るための農業用水の利用などを行っています。近年は、自治会やNPO法人、地域の小学校とも連携。「ほたるの幼虫放流、炭焼き小屋での炭焼き体験教室、しろやま公園の整備、他地区の住民も参加できるお祭りの開催と、活動の幅はどんどん広がっています」と同会代表の河村良信さんは説明します。富

士山静岡空港に隣接する道路の整備事業も委託されており、今は沿道400メートルにわたって芝桜を植える作業の真つ最中。芝桜のほかにもむくげも植えたそう、近い将来、春には満開の芝桜、秋にはむくげの可憐な花が、地域の内外の人たちの目を楽しませてくれることでしょう。

「ほかの地区の人たちから『湯日の衆らはよくまとまっているねえ』と言われるんですよ。団結力が邑一番の自慢です。これからいろいろな活動を通して、住民全員が誇りに思えるような邑にしていきたいと思っています」と河村さん。よく整備された農地や、そこかしこに咲く花々、そして邑人たちの笑顔から、住民のみならずの誇りと愛情を感じます。

周囲を山々に囲まれた湯日は昔から茶業が盛ん。この風景を次世代へと残すため、茶畑をはじめとする農地の保全活動が積極的に行われています



3. 湯日川の土手の草刈り(2.5キロにも及ぶ)や山林の枝払い、邑の美観を守るための大切な作業。邑の住民たちが協力しあって行われます。
4. しろやま公園の斜面に桜を植えている様子。湯日の邑では四季折々さまざまな花を目にすることができますが、それは人々の地道な作業あってこそ。



しろやま公園で行われた七夕まつりは、他の地区の住民たちも参加可能。流しそうめんは大人にも子どもにも大好評でした。

先人が残した美田を守る、 絆と笑みのある豊かな邑

かかし祭り 活気づく邑づくり

川根本町の山間地にある地名では、かつて穀物が乏しく、3食を満たせない苦しい生活を送っていたといいます。明治10年、邑の暮らしを豊かにしたいと願った当時の名主役（現在の区長）は、ある若者と共に用水の建設を始めました。手掘りでトンネルを作り、大井川の水を引き入れ、山の高低差を利用して水路を導き、水田を開墾。「鶴山の七曲」と呼ばれる大井川の蛇行に影響されてきた土地は、広い農地を形

成するのに適していました。先人の知恵と技術、そして数々の苦勞によって完成した美田は20町歩（約20ヘクタール）に及び、やがて邑の暮らしは潤っていきました。現在、地名区長を務めているのは、185年前に用水工事を始めた名主役（現在の区長）、椎野作之八氏の子孫である椎野良助さん。「地名の貴重な農業遺産を次の世代に繋げていきたい」と、邑人たちと一体となって豊かな自然環境の保全に取り組んでいます。

稲穂が鮮やかに色づく頃には、2年に一度、美しい田園風景に賑やかな人だかりができます。豊作に感謝し、健康に良い笑いを呼ぶ「地名の平かかし祭り」です。組ごとに手作りされた案山子が披露され、観光客も含めた一般の投票によって各賞が決められていきます。時代を表すユニークなキャラクターが登場し、音が出るなど、仕掛けがある力作もあります。コンテストが終了すると、邑のPRや交通安全の呼びかけ役としても案山子が活躍します。

今春からは「ふじのくに美農里プロジェクト」の活動を始め、用水の整備や草刈り、花を植えるなど、若者と高齢者が共同で美しい邑づくりに励んでいくと計画。豊かな暮らしを目指して互いに協力し合い、支え合うという、代々の尽力と

6. 邑人たちの良いコミュニケーションの機会ともなっている「地名の平かかし祭り」。2年に1度、秋に稲田の横で開催。
7. 西地名と東地名の中央にある大井神社へと続く道。階段の数は、建設当時の地名の世帯数と同じ177段。



邑番号
63

地名

じな

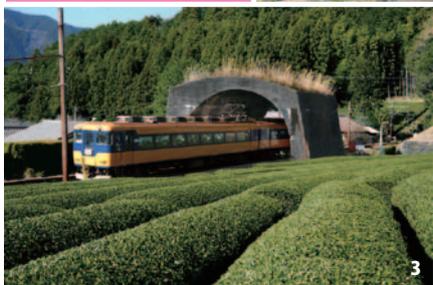
榛原郡川根本町地名

- 車／東名高速吉田ICから約70分、新東名高速鳥田金谷ICから国道473号を北に約65分
- 電車／大井川鐵道地名駅周辺

土地改良区の理事長、竹本司さん。美田の整備と維持に取り組んでいます。背後に見える家々が西地名の集落、その奥の山ではパラグライダーが楽しめます



1. 約20haの広大な田に流れて行く用水。澄んだおいしい水が行き渡るため、おいしい米が育ちます。
2. 冬の田園風景。眠っている土を掘り起こしているのは副自治会長である藤田博行さん。



3. 地名の観光名所、大井川鐵道がくぐる「日本一短いトンネル」。全長約10m。索道からの落下物を防ぐ保安用に建設され、索道が廃止された現在には面影だけを残しています。



4. 明治時代に椎野作之八氏、三倉仲四郎氏の2人が中心となって行った工事の経緯や当時の住人名簿が刻まれた大井神社内の記念碑。
5. 阿弥陀堂から大井神社に向かう途中、山の中腹を流れる用水。緑に囲まれ、水音が美しい穴場の散歩道。



東山口・西山口

ひがしやまぐち・にしやまぐち

掛川市東山口・西山口

●車／国道1号掛川バイパス千羽ICから南へ約5分
●電車・バス／JR掛川駅北口バス乗り場5番から「満水線」で20分、「22世紀の丘公園」下車



3

野菜を育てることを通して、 地域や人とのつながりを作る

農業の大切さを教える 食の学校

掛川市・22世紀の丘公園で開催されている農業体験教室「食の学校」。ボランティアの講師は掛川市で長年農業を営まれている方々です。「食の学校」は年に8回開催されています。5月の田植えからはじまり、じゃがいも、さつまいも、だいこん、たまねぎなど、いろいろな野菜の種まきと収穫を繰り返し、翌年の1月まで活動が続きます。有機農法

で農業を使わないため、子どもと一緒に参加したいというファミリーの応募が多く、すぐに定員になってしまいう人気講座です。そんな「食の学校」の特長は内容がとても充実していること。お米の収穫では、昔ながらのやり方を体験してみようと『千歯扱き』や『足踏み脱穀機』を持ち寄ったところ、はじめて見る道具に子どもたちは声を上げて大喜び。大人

も夢中になって脱穀作業をしたそうです。また、トラクターの乗車体験や、田んぼでのどろんこ遊びも好評でした。野菜の植え方や品種の違いなどを詳しく学べるのも講師の皆さんが農家だからできることです。

8回の講座を終えると、やはり感じるのは子どもたちの成長。種から育てて収穫したことがきっかけで「これまで苦手だった野菜も食べられるようになった」「今までどこに実がなるかわからなかったけど知ることができて良かった」という感想が飛び出し、講師の皆さんは「農業体験を開催して良かった」と思っています。

農業の大切さ、楽しさを覚えてもらいたい、という願いではじめた「食の学校」。子どもたちにはその思いはしっかりと伝わっているようです。



1



2

1. 植え付けの説明。みんな真剣です。
2. サツマイモの収穫。収穫の喜びにみんな笑顔です。
3. トラクターの乗車体験。子どもたちに大人気。

どろんこのフワフワ感とあたたかさに、田んぼから出たがらない子どもも



5



4



7



6

4. 稲刈り体験。鎌を使ってみんな上手に刈っています。
5. 刈り取った稲は、昔ながらのやり方で天日干しに。約15日間行います。
6. 稲を歯にひっかけて思いっきりひっぱる「千歯扱き」に興味津々。
7. 1月の閉会式ではお餅つき。感謝の気持ちでいただきます。



山に入って椎茸栽培用の原木となるコナラやクヌギの木を自分で切る貴重な体験。女性や子どもも参加できます。

むっちり肉厚で香り高い原木椎茸



いっぶく処横川

いっぶくどころよこかわ

浜松市天竜区横川

- 車 / 新東名高速浜松浜北ICから国道362号を北に約30分
- 電車 / 遠州鉄道西鹿島駅から遠鉄バス秋葉線乗車約30分、「いっぶく処横川」バス停下車徒歩1分



1. 古民家風の道の駅「いっぶく処横川」では、椎茸を使った名物商品をはじめ、「コシのあるそばと地元産の椎茸が入った野菜天ぷらセット」などの食事メニューも人気です。
2. 原木に穴を空けて椎茸の菌を打ち込む「菌打ち」の体験に親子で参加。
- 3/4. 春と秋の年2回開催される椎茸祭りでは、生椎茸の炭火焼に行列が出るほどの賑わいです。



天竜高校の高校生が商品化した「しいたけコロケバーガー」280円。パンズも緑茶の粉末を練りこんだこだわりの味

原木椎茸の栽培体験で横川ファンづくり

高校生とのコラボで
新商品開発&販売も

天竜区役所から北東へ車で約10分ほど、緑豊かな山あいの集落が横川地区です。ここでは昔から椎茸の原木栽培が盛んに行われていて、肉厚で味も香りも濃い原木椎茸が名産品となっています。そんな地区自慢の産品をさらに消費者に知ってもらおうと、8年ほど前から取り組み始めたのが栽培体験です。

一般的に椎茸栽培の体験という

と「菌打ち（丸太に菌を打ち込む）」が主になりますが、横川では山に入って原木を伐採するところから体験できるのが特徴です。約30名ほどの参加者の中には子どもや女性も混じり、果敢にチャレンジ。山にも親しみ、菌打ちの後は2年めから収穫できるため、自分が手がけた椎茸の様子を見がてら横川を訪ねてくる人も自然と増えます。世話役の一人である『道の駅いっぶく処横川』の支配人・小沢秀秋さん

は、「2〜3年は収穫できますから、伐採体験から4〜5年のお付き合いで交流も深まり、心強い応援団ができた気分ですよ」と言います。

3月の椎茸祭りでも原木150本を用意して、菌打ち体験後は自宅で栽培を楽しんでもらったり、11月の椎茸祭りでは毎年採れた原木椎茸20〜30キロを炭火焼きにして無料で振るまつたりと、恒例イベントは大いに賑わいます。

原木椎茸の旨味を活かした商品づくりにも熱心で、『しい

たけ入り蒸しパン』『しいたけソフトクリーム』は既にリピーターがつくほどの人気ぶりです。また3年前に天竜高校の生徒が特別授業で商品化に取り組んだ『しいたけコロケバーガー』も試験販売の結果、土日限定の販売が決定。高校生の考案でツーリングやサイクリングで訪れる人の軽食にぴったりな洋食が誕生し、小沢さんもその視点やアイデアには感心しきりでした。心温まるイベントや人のつながりを丁寧に重ねて、横川ファンづくりは着実に成果を上げていくようでした。



49湯日(島田市)
河村 良信さん

湯日出生。茶農家として茶の栽培から小売までを手がけるかわら、湯日美里会の会長を務める。NPO法人「しろやまゆいの会」も主宰。

みんなで団結して 誇りを持てる邑づくりを

昨年、湯日美里会で遊休農地の草刈りをしたところ、農地の持ち主が「わざわざ草を刈ってもらったから…」と田を起してくれ、今度、コスモスの種をまくことにしました。このように、私たちの活動が何かのきっかけになるのは嬉しいですね。これからも誇りを持てる邑づくりをしていきたいです。



40大沢地区(静岡市)
内野 えつ子さん

現在の大沢地区長である内野忠一さんの家に嫁いだのが今から37年前。忠一さんと共に大沢茶のPRと縁側カフェを盛り上げる活動に精力的に取り組んでいる。

今日明日とはいかなくても 続けられればきっとできる

縁側カフェでは、急須でお茶を入れたことがないという若い子がおばあちゃんと一緒に笑い合い、仲良くなっています。邑びと同士の交流も増えて楽しくなりました。こうした縁を広げていきたいですね。大沢茶を知ってもらうために、結果を急ぐより、まずは継続していくことだと思います。



65岩本山とかりがね堤を守る邑(富士市)
小林 勲さん

岩本山とかりがね堤を守る会会長。60歳まで会社員として勤め上げ、見よう見まねで家業の農業をスタート。現在は特産品であるみかん栽培に勤しむ。

一度来た人がまた来たくなる 美しい邑と人間関係が自慢

「岩本山とかりがね堤を守る会」の構成員は現在480名ほどいます。全員が毎回活動に参加するわけではありませんが、農業も人生経験も豊富な仲間に出会って、地域をもっと美しくしようとみんなで和気あいあいと作業に取り組んでいます。来た人が「美しい」と思いました来てくれる邑づくりを目指しています。

郷土に対する愛情が溢れる
「美しく品格のある邑」の
キーパーソンに、
今後の夢や目標を語ってもらいました



64いっぶく処横川(浜松市)
小沢 秀秋さん

平成19年より「いっぶく処 横川」支配人として従事。地元小学校で椎茸の菌打ち体験を毎年指導している。

作る目的のための直売所が 暮らしも応援できる仕組みを

せっかく作物を作っても、高齢化や単世帯化で出荷できないケースが見受けられます。そこで集荷と同時に暮らしに必要な物を販売する(届ける)2WAYの仕組みを確立することで応援できたらと思案中です。品数を増やして市場が広がるよう、行政任せにせずに考えていきたいです。



70東山口・西山口(掛川市)
横井 隆一さん

掛川市農業協同組合理事。西山口地域塾メンバーとして農業体験教室「食の学校」の講師を務める。

子どもたちの豊かな表情が 疲れを忘れさせてくれる

子どもたちの、真剣な顔と、笑い顔、両方見ることができるのが楽しいですね。我々はボランティアでやっていますが、参加している人のイキイキとした表情を見ると事前の準備の疲れもどこかに吹き飛んでしまいます。おかげさまでとてもリピーターが多いので、今後は珍しい野菜を作るなど新たな展開をしていこうと考えています。



63地名(榛原郡川根本町)
椎野 良助さん

川根本町地名地区の自治会長。先代作之八さんは地名に豊かな水田環境をもたらした功労者の1人。先代の意思を継ぎ、豊かな環境と邑づくりを牽引している。

受け継いだ伝統と美を 長く次世代へ残していきたい

安心して楽しく住める邑づくりのために務めていこうと考えています。互いに助け合い、協調と絆を大切にしていけるように。貴重な農業資産も次の世代に繋げていきたいですね。今年は「ふじのくに美農里プロジェクト」を始める予定なので、みんなでゴミのない美しく品格のある邑を守っていきたいです。

大学生 体験レポ



静岡大学
人文社会科学部4年
小長谷光里さん

お手軽だけど奥深い 竜ヶ石山のススメ

標高359mの竜ヶ石山は石灰岩地帯特有のカルスト地形をもち、希少な動植物がみられるなど風景の変化を楽しむことができます。低山でありながら、富士山、遠州灘を一望できる山頂も人気の秘密。毎年、多くのハイカーが訪れます。

古生代の奇岩と 住民の地元愛

登山口から歩くこと15分。スギやヒノキに囲まれた山道に大小様々な石灰岩があらわれました。登山ガイドの小野寺秀和さんによると、これらの石灰岩は2億5千万年かけて地殻変動により地表に露出したフィリピン海プレートの名残なのだそうです。雨水によって溶けた石灰岩が尖塔状に林立する地形はカルスト地形（カレンフェルト）と呼ばれ、こゝ竜ヶ石山も日本有数の地形として浜松市の新自然

悠久の歴史をもつ 竜ヶ石山 ハイキングを満喫!



邑番号
93

竜ヶ石山 ～西四村の里～

りゅうがしやま～にしよむらのさと～

浜松市北区引佐町田畑

- 新東名高速道路浜松いなさICから車で約10分
- JR浜松駅遠鉄バスターミナル15番ポール「奥山行き」で約50分「竜ヶ石山入口」下車、徒歩5分

百選に選ばれました。注目したのは、表面に水平の溝が何本も刻まれている特徴的な形状。溶食によってできた溝ですが他の石灰岩では見られない珍しいもので、現在も調査中なのだそうです。他にもエビネやアツモリソウといった希少な植物、夏には蛍が見られるそうです。



棚田を支える坪は石を一個ずつ積んでつくられたもの。昔の人の技術と知恵を感じます。



山頂の鐘。昭和初期は火の見櫓の半鐘として活躍しました。



↑竜ヶ石山のハイキングコースでは、自然の営みを1年を通して楽しみ、登るたびに新しい発見のできる山。山を切り開いた地元の方たちは、登山客同士の交流を見ることや子どもたちののはしゃぐ声を聴くのが楽しみだそうです。
←安定した風の吹く日は、パラグライダーも楽しめる山頂。絶景です。

竜の爪痕。竜が残した爪痕の伝説が竜ヶ石山の由来です。



白樺の棚田で蘇る、 農村文化と集落の絆

「地域の誇りや伝統、あたたかさを可視化したのが竜ヶ石山ハイキングコースなんだよ」と、小野寺さんは教えてくれました。

竜ヶ石山の中腹には、白樺（しらかし）の棚田があります。10年前は雑草に覆われた一帯でしたが、かつての稲作を復元しようという有志が集まった人たちが復旧したのです。現在は、田植えや収穫に子どもからお年寄りの方まで参加する、食の青空教室となっています。

竜ヶ石山の魅力は、 新旧を受け入れる 懐の深さにアリ!

年間数十万人の人が訪れるほど竜ヶ石山地域に活気が生まれたのは、地元の方たちの有言実行する姿勢が根底にあるからと小野寺さんは言います。竜ヶ石山も農業や林業を生業とする人たちが集まり、間伐や山道の整備を始めたそうです。今回、私の中に湧いてきた好奇心や楽しさは、古きものを守り、新しい挑戦を続けてきた地元の方たちの想いが生んだものだと思います。地元の皆さんはまだまだお客さんを楽しませる新しい仕掛けをつくっていくそう。今後も注目していきたい邑です。

(編集協力/静岡時代)

茶文字の里で話題の 世界農業遺産 茶草場農法に挑戦！

茶文字の里の魅力は
お茶だけじゃなかった

電車の車窓や空港から誰もが一度は見たことがあるだろう「茶」文字。掛川市東山にある茶文字の里では、世界農業遺産に認定された茶草場農法によって良質なお茶・東山茶が代々受け継がれています。茶草場農法とは、茶畑周辺の採草地（茶草場）のススキやササなどの草を刈り、乾かした後、細かく刻んで茶畑の畝間に敷くというもの。それにより葉が厚く、緑が濃い、それでいて葉のやわらかなお茶が育ちます。実際飲んでみると色が濃い割に甘いので驚きです。さらに東山の茶草場ではハルリンドウやフジタイゲキ、カケガワフキバッタなど多様な動植物を見ることが出来ます。これが世界農業遺産に選ばれた理由です。

茶草場農法のはじまり

茶文字の里のある粟ヶ岳は砂礫が多い土壌で、お茶をつくるには水はけが良すぎる場所です。茶草

晴れの日には富士山、伊豆半島、遠州灘を一望できます



茶文字の里 東山

ちやもじのさと ひがしやま
■東山いっぶく処(水曜休み)
掛川市東山1173-2 ☎0537-27-2266
www.higashiyamacha.jp

■東山いっぶく処粟ヶ岳山頂店(月曜休み)
掛川市東山1050-1 ☎0537-27-0845
●車/新東名島田金谷ICから国道473号経由、国道1号ハイパス大代IC~日坂IC経由で25分
●電車・バス/JR掛川駅から掛川バスサービス東山線で35分、東山バス停下車、東山いっぶく処まで徒歩2分



常葉大学法学部3年
山下和也さん

昭和7年に当時、地元の人が手旗信号で作った「茶」文字は東山のランドマーク。茶草場農法は本来、茶の木自体の作業がない秋冬に茶草を刈り、畝間に敷きます。「お茶一筋」で生活する茶処を象徴する景観です。



山城さんに教えていただきながら畝間に茶草を敷いていきます



徒歩登山を日課にしているという加藤さん(今年喜寿!)。腰痛も治ったとか!



←磐田市、藤枝市などから登山に訪れる人で賑わう「いっぶく処」。茶文字まんじゅうが人気。



↑地元食材をふんだんに使ったお弁当「のら弁」(要予約)
←杉山さん(左)と山城さん(右)

場農法は茶草が保水力を高め分解後には肥料にもなることから、徐々に根付いていきました。「はじめはお茶が美味しくなる為に茶草を敷いていただけなんです。絶滅が危惧されているキンランも当たり前の光景と思っていました」

茶文字の里でツーリズムのガイドも務める山城みや子さん、世界農業遺産認定を受けて初めてのまでの取り組みが茶草場の生物の多様性を守っていたことを知ったと教えてくれました。

**県内外、海外からも！
交流型ツーリズムで
伝えたいこと**

「農業遺産は常に動いているもの。人間が守らないと守れないわけで、考え方によっては富士山よりも大事だと思う」

東山育ちで長年農業を営む杉山敏志さんは、同じ世界遺産でも農業遺産の継続が大事だと教えてくれました。東山で茶草場農法が取り入れられてから一五〇年以上、草を刈っては敷くという行為が欠かさず行われてきたからこそ多様な生物や景観、美味しいお茶が今も残されています。県内外・海外からの視察研修、ツーリズム参加者が増えている今、伝統農業や四季折々の景観を通し茶文字の里が伝えているのは、「地道に環境を守ること」そのものでした。

(編集協力/静岡時代)

interview

「美しく品格のある邑」に魅せられた人びとに、そこでの活動や魅力について聞いてみました。

賀茂郡松崎町石部に広がる石積みの棚田。農耕放棄され茅で覆われていた4.2haもの棚田を再生し美しい眺めを取り戻したのは、平成12年のことでした。小さな棚田には農機が入らず、また、畔切りや畦塗りといった緻でないときできない作業がたくさんで、日常の管理に人の手が欠かせません。そこで大活躍しているのが、富士常葉大学の学生ボランティアたちです。

「高木教授と石部棚田を守る会の方々との出会いがきっかけで数人の学生と始めた活動が、今や1回に50名ほどの学生が参加するほどに成長しました」と山本早苗先生は言います。参加は真正正路のボランティア。「土いじりが好きだから参加してみたら楽しくて」とは小湊航さん。参加の動機は人それぞれです。

その活動に変化が訪れたのは2013年のこと。石部のいいものをもっと知ってほしいという思いが地域の人たちと学生の双方で芽生え、タイミングが合致。こうして誕生したのが



2013年にスタートし2014年から本格始動している「棚田マルシェ」を年2回開催。野菜や果物、ひじきや海苔などの地場産品や海産物、ジャムやつけものなどの加工品を販売しています。



石部赤根田村 百笑の里

いしぶあかねたむらひやくしやうのさと

賀茂郡松崎町石部

- 車 / 東名高速道路沼津ICから国道136号線で石部方面へ約1時間45分
- 電車 / 伊豆急下田駅から東海バス松崎行きまたは堂ヶ島駅行きバスラ峠経由で約50分で松崎へ
- フェリー / 土肥港から車で約40分

◇常葉大学富士キャンパス 社会環境学部
山本早苗さん(准教授)
堀井梓左さん(社会環境学部4年)
小湊航さん(同3年)
藤原広太さん(同3年)

冬になったらモグラなどがあけた穴に粘土を詰めて叩いて埋める穴埋め作業が待っています

石部は第二の故郷。だから、いいところをたくさん知ってほしい！



1. 春には畔切りと畦塗りを実施。水漏れしないよう、毎年畔をいねいに塗り固めます。2. 田植えシーズンは5月。棚田にはオーナー制度があり、ほとんどのオーナーが県外の人。2012年からは常葉大学も棚田のオーナーになりました。3/4. 秋には稲刈り。稲束を作ってしっかり縛って連日干し。一連の作業のやり方とコツを地域の方に教えていただきます。



5. 2013年5月にスタートたんぼカフェ「いっぶく亭」は地域の食文化を発信する場所。6. 「いっぶく亭」でサービスする「ごじる」作り。地元のおかみさんたちと一緒に郷土料理を作るのが楽しいんです。



左から、小湊さん、山本先生、堀井さん、藤原さん。活動はすべてボランティア。すべてを学生主体で行っています



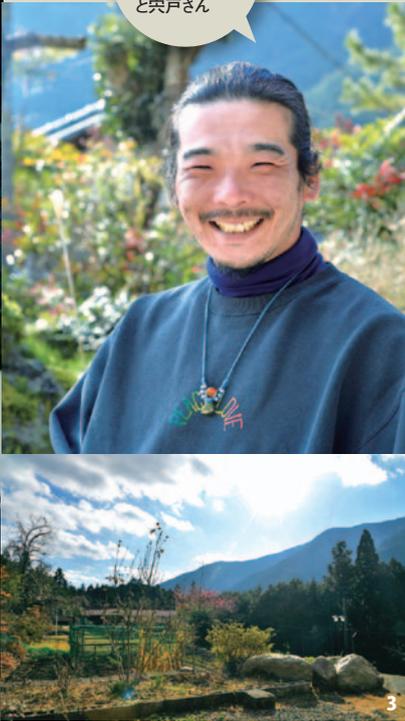
常葉大学の卒業生の発案で2012年から始まった「石部の灯り」。石火族という地域の歴史を生かして、1500個ものキャンドルで棚田を彩ります。幻想的で雰囲気ある光景は、棚田の景観に新たな価値を生み出しました



「麻の葉柄の欄間など、自身の好きなものとの共通点が家の中にいくつもあって、今暮らす家に一目惚れしました」



「自然の中の暮らしは楽しいですよ」と穴戸さん



1. ゴルフ場のコース管理の仕事の傍ら、アクセサリ作りも。インターネットで販売しています。
2. 庭で藍染めを楽しむ穴戸さん。同じ塩野集落に暮らす移住者たちとモノづくりを通じて交流することも多いそうです。
3. 縁側からは、どこまでも広い空が広がります。目の前の畑は、今暮らす家の大家さんのもの。大家さんとの会話を通じて知った暮らしの知恵がたくさんあるそうです。



豊かさに感謝して楽しむ 自然に寄り添う暮らし

◆穴戸一善さん

柚野の里の稲子地区にある、塩野集落。4軒しかないこの小さな集落に穴戸一善さんが移住してきたのは、7年ほど前のことです。

穴戸さんは清水市（現静岡市清水区）出身。長男が生まれ「海のそばよりも山のほうがいい」と移住を意識するようになり、2008年のリーマンショックを機に「生き方を変えていこう」と移住を決意。天竜や山梨県などの役所へ出向き、暮らす場所を探し始めました。「稲子のあたりを通つたとき、ここも雰囲気いいね、では役所へ行ってみよう」とその足で向かいました」と穴戸さんは当時を振り返ります。

穴戸さんが役所に立ち寄つた日は、稲子地区定住推進委員

会が立ち上がったまさにその日。その後、第一回目の見学会に参加。最初に見た家を気に入って応募したところ見事に当選。トントン拍子で移住が決まりました。

4軒すべてが空き家だった塩野集落には、今、すべての家に移住者が暮らしています。移住者同士はもちろん、元々稲子に暮らす人たちとの交流も盛んです。「草刈りを手伝うなど、地域貢献じゃないけれど、自分にできることはほとんどやっつけていこうと取り組んでいます」という姿勢が、邑へスツと溶け込むきっかけになったようです。今では、地域の人たちに頼りにされる存在になりました。

柚野の里の暮らしで、穴戸さんが大切にしていることは

邑番号 32
柚野の里
ゆのさと

富士宮市稲子地区

- 車／新東名新清水ICから国道52号を經由して国道469号へ
- 電車／JR身延線稲子駅下車



穴戸さん夫妻と3人の子供たち。奥さんは16歳からずっと一緒。高校卒業後、8年ほど湘南に暮らしていたこともあるそうです

シンブルに暮らすこと、です。「野菜は自分たちで栽培したものを、イノシシやシカの肉を食べ、皮はなめして、ツノはアクセサリに加工。捨てるのは何もありません。必要なものはすべて身の回りで調達し、自然に感謝しています。ここに来ていなかったら、今の考え方や観念にたどり着くことはなかったでしょう」と穴戸さんは語ります。

「ここは星がすごく美しい。月も大きく見えるんです。空気も水もきれいだ。自然のサイクルを感じながら暮らすのは、とても居心地がいいと実感しています。ここに移住して心が太らかくなりました」。穴戸さんがこの邑で手に入れたものは、真に豊かな暮らし



邑番号
03

大賀茂

おおがち

下田市大賀茂

- 車 / 伊豆急「下田駅」から県道119号線を西(一条、下賀茂方面)に約10分
- 電車・バス / 伊豆急下田駅から南伊豆東海バス「下賀茂」(植物園)行き、または「一条たけのこ村」行き「金山」下車

そこは“理想の春の邑”、 大賀茂れんげ祭り

下田市中心街から車ですぐの距離にある大賀茂地区では、毎年春になるとれんげの花で一面ピンク色に染まった田園が出現します。「大賀茂れんげ祭り」は、地元住民の有志が地域おこしや文化継承のために15年ほど前に始めたイベント。稲刈りを終えた田にれんげの種を蒔き、花開く時期に合わせて開催しています。会場では田園の美しい色彩だけでなく、およそ100匹の鯉のぼりも景色を引き立てます。地元特産品の販売や屋台もあり、邑の空気や地元の人々の暖かさを感じられます。



邑番号
44

奥長島 (足久保)

おくながしま

静岡市葵区足久保奥組

- 車 / 新東名高速新静岡ICから車で20分
- 電車・バス / JR静岡駅からしずく線ジャストライン美和大谷線奥長島行き終点「奥長島」下車(静岡駅から1時間)

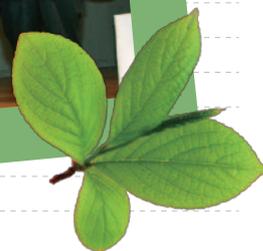
美しい茶畑の白眉! 足久保の段々茶園

静岡市足久保奥組の段々茶園は茶葉と美しいコントラストをなす白い石垣によって段が積み上げられているのが特徴です。これはかつて畑の所有者が足久保川下流から長い年月をかけ運び上げ、山の形状に沿って築き上げたもの。現在もその姿を見ることができるのは、地域の人々がこの地の財産として大切に引き継いできた証なのです。かつて皇室献上茶として静岡ブランド周知に一役買った足久保茶。由緒正しい静岡茶は生まれながらに美しい景色と人々の手仕事によってつくられています。



「美しく品格のある邑づくり知事顕彰」を 新たに3邑が受賞

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合」では、美しい景観や個性的な文化・伝統などの多様な地域資源の保全活用に取り組む地域を「美しく品格のある邑」として登録しています。その中から静岡県では毎年、「環境」「社会」「経済」の3つの視点で評価し、邑づくりの先導的かつ象徴的な事例として、活発で発展的な活動に取り組む邑に対して、知事が顕彰しています。2月9日に市民ホールおかべ(藤枝市)で行われた表彰式で、「南条の里」「ささま」「森町南部」が知事顕彰を受賞しました。これまでに知事顕彰を受賞した邑は18となっています。





里山の木道を歩こう 諸井里山の自然観察

今でこそ美しい植物や、湿地に池など多様な自然を見られる袋井市諸井の里山ですが、実は近年まで手つかずの荒地でした。現在はすっかり本来の里山の姿を取り戻し、遊歩道や駐車場も整った絶好の散策スポットとして親しまれています。同時に幼児・児童たちが自然観察や昆虫採集などを行う野外学習の場としての機能も果たすなど、憩いと学習の場が一体となっているのが特徴。多世代での里山利用が進み地域の文化継承や地域コミュニティの形成にも役立つ、大切な拠点となっています。



諸井里山の会

もろいざとやまのかい

袋井市諸井

●車 / 東名高速袋井ICから約20分、新東名高速森掛川ICから約40分



総面積15.4haで遊び尽くす。 あらさわふる里公園

御前崎市朝比奈にある「あらさわふる里公園」には、水と緑の豊かな自然に囲まれた“ふるさと”の景色を満喫できる環境が凝縮されています。公園内にはトンボや野鳥が見られるビオトープ、茶園、農業体験エリア、バーベキュー広場等が設けられ、展望台からは遠州灘を一望できます。さらに地元農産品の直売所には、お値打ち価格で土の匂いを感じる野菜が豊富。昼前には品数が少なくなるほどの盛況ぶりです。一日を通して楽しめるスポットで、家族や友人とのお出かけにもオススメです。



朝比奈

あさひな

御前崎市朝比奈

●車 / 東名高速菊川ICから約20分、相良牧之原ICから約20分



豊かな耕地は先人の遺産 嶺田用水の誕生秘話

嶺田用水は1600年代前半に日照りに苦しんでいた農地に水を供給するためにつくられました。農民だった中条右近太夫がこの用水築造を領主に訴えますが認められず、越訴の罪に問われることを覚悟で幕府に直接掛け合っただとされています。現在では温室メロンをはじめ、高品質・多品種の農産物に恵まれている耕地は先人が命を張ってもたらしたものです。中条右近太夫の没後390年経った今も、毎年命日の1月23日には、縁ある井之宮神社で祭典が行われています。



嶺田用水の里

みねたようすいのみさと

菊川市嶺田及び大石地区

●車 / 東名高速菊川ICから車で約20分

●電車 / JR菊川駅からしずてつジャストライン菊川浜岡線(御前崎行き)「平田」降車、徒歩15分

3/20日 富士錦酒造の蔵開きイベント。
地元の食材・料理とともに

富士錦蔵開き

▲富士錦酒造 富士宮市上柚野532
※JR富士宮駅からシャトルバス運行(往復200円)
☎富士錦酒造株式会社 ☎0544-66-0005



～**3/13日** 梅と天城連山の
コントラストが美しい梅まつり

伊豆月ヶ瀬梅林梅まつり

▲伊豆月ヶ瀬梅林 伊豆市月ヶ瀬763-2
※静岡県太鼓祭 2/21・28,3/6
☎伊豆月ヶ瀬梅組合 ☎0558-85-0480



3/20日 朝市、手打ちそばの販売

葉梨アーモンドまつり

▲葉梨西北アーモンドの里
藤枝市北方481-1(白ふじの里周辺) ※駐車場あり
※猪汁・甘酒・アーモンド餅の無料サービス
☎葉梨西北活性化施設 白ふじの里 ☎054-638-4155(火曜休)



～**3/15日** 梅(約180本)と桜(約200本)が見頃

あらさわふる里公園 梅・さくら祭り

▲あらさわふる里公園
御前崎市下朝比奈158-7 ※駐車場無料・150台
※毎週日曜日 先着100名甘酒サービス
☎(南)グランパークあらさわ(代表 杉浦敏朗) ☎0537-85-8230



3月下旬～4月上旬

約2,000本の桜が満開に

西之谷公園の桜

▲西之谷公園 浜松市西区雄踏町宇布見6024-1
※駐車場あり ☎(浜松市公園管理事務所) ☎053-473-1829



～**3/31** 静岡一のホテルの里で
お米作りをしませんか?

田んぼオーナー募集

▲鎮玉・日比平農場 浜松市北区引佐町田沢
☎特定非営利法人 ひするしい鎮玉
☎053-544-1045 info@shizutama.jp



3月下旬～4月下旬

0.4haの菜の花畑が見頃

耕作放棄地を菜の花畑へ再生

▲浜名湖ガーデンパーク西側付近
☎NPO法人 むらちやネット ☎053-488-0800



～**4/10** 世界遺産「富士山」と
「梅」と「桜」の絶景を望む

絶景★富士山まるごと岩本山

▲岩本山公園 富士市岩本1605
☎(新富士駅観光案内所) ☎0545-64-2430



3/26日～4/3日

秋葉ダム周辺に1,000程の桜並木が続く

秋葉ダムさくら祭り

▲秋葉ダム周辺 浜松市天竜区龍山町 ※駐車場あり
☎(浜松市龍山協働センター) ☎053-966-2111



3月上旬～下旬

白糸庵近辺の桜・菜の花が見頃

白糸庵近辺の桜・菜の花見頃

▲そば処白糸庵付近
富士宮市原1199-2 ※白糸庵駐車場あり
☎(白糸の里地区(宇居)) ☎090-5614-0685



4月上旬

徳山桜まつり

道路沿いのしだれ桜と、桃沢川沿い
両岸のソメイヨシノの並木が見頃

▲川根本町町営サッカー場
川根本町徳山 ※町営サッカー場に駐車場あり
☎(川根本町まちづくり観光協会) ☎0547-59-2746
☎(徳山区事務所) ☎0547-57-2843



3/5日 10:00～16:00

環境保全の担い手を増やすため、
環境教育の専門家による講座を開催
環境プログラムを体験しよう!

▲的場四方浄公民館 浜松市北区引佐町の場512-1
※参加費無料・定員20名(先着順)・高校生以上対象・初心者歓迎
☎(特定非営利法人 ひするしい鎮玉) ☎053-544-1045 info@shizutama.jp



4月上旬

ゆうとう竹の子堀り体験

▲雄踏町地内の竹山 ※詳細はお問い合わせください
☎(吉田商店(吉田和子)) ☎053-592-1034
※参加料/大人1,000円、小学生以下300円(保険料込)



3/12日～13日 8:00集合

植樹会

12日は「山高の神代桜」を記念植樹、
13日は桜を数多く植樹
▲春野山の村 浜松市天竜区春野町杉943-1 第1駐車場
☎NPO法人 (はるの山の楽校(事務局 内山)) FAX.053-984-0320
info.haruno.yamagaku@gmail.com



4月上旬～5月中旬

市内外の方から寄付された鯉のぼり約70匹が泳ぐ

あらさわふる里公園 鯉のぼり揚げ

▲あらさわふる里公園
御前崎市下朝比奈158-7 ※駐車場無料・150台
☎(南)グランパークあらさわ(代表 杉浦敏朗) ☎0537-85-8230



4月～5月

花狩り

▲南伊豆町伊浜地区
南伊豆町伊浜 ※駐車場あり
☎(伊浜区) ☎0558-67-0111
※1人10本無料(例年)
※開催日未定



3/13日 10:00～14:00

田舎料理のプロ「ドラゴンママ」のお母さん達と楽しく料理

ドラゴンママの「食」手作り体験

～よもぎ餅つき体験～
▲ドラゴンママ加工場 浜松市天竜区龍山町瀬尻930-11
※体験料2,000円 ※昼食付 ☎(ドラゴンママ) ☎053-968-0011



4月上旬～5月

0.5haの菜の花畑が見頃

遊休農地を活用した菜の花畑

▲浜松市東区中ノ町
国道1号線中野町IC北西約500m ※駐車場あり
☎(中ノ町環境保全会) ☎053-421-3392(代表 小池)



3/19日 オープン

きれいな新緑の中でキャンプを楽しむ

池の谷キャンプ場

▲池の谷キャンプ場
☎(川根本町まちづくり観光協会) ☎0547-59-2746



4/1日～9/28日

浜名湖たぎや漁 浜名湖雄踏の伝統的な漁法

▲浜名湖 乗船場所/浜松市西区雄踏町宇布見9985-3
※駐車場あり ☎(たぎや組合) ☎053-592-2260



3/19日～

色とりどりのチューリップが並ぶ

チューリップフェア

▲アクティ森 周智郡森町問詰1115-1
☎(アクティ森) ☎0538-85-0115



Event Calendar

県のイベントカレンダー

2016
spring

3月 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
春分の日	振替休日					
27	28	29	30	31		

4月 April

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
					昭和の日	

5月 May

1	2	3	4	5	6	7
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日		
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

あなたの意見を
お聞かせください

〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部農地局農地保全課
FAX 054-221-2809
E-mail :
nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢
をご記載ください。
※頂いたご意見は次号以降に掲載させていた
だく場合があります。
※個人情報、連絡のため以外には使用いた
しません。

6月上旬

好きな梅を必要だけ収穫

伊豆

伊豆月ヶ瀬梅林観光梅祭り

伊豆月ヶ瀬梅林 伊豆市月ヶ瀬763-2
※梅酒・梅シロップ体験製造実施
園伊豆月ヶ瀬梅組合 ☎0558-85-0480



4/16・17

西部

国指定重要無形民俗文化財に登録された十二段舞楽の舞小國神社例祭

小國神社 森町一宮3956-1
※駐車場あり ※シャトルバスあり
園小國神社 ☎0538-89-7302



4/3 9:30~

中部

奥葦科・大川お茶祭り

静岡市葵区大川地区(坂ノ上に案内所を設置)
園JA静岡市大川支店 ☎054-291-2221



6月上旬~下旬

西部

ほたる鑑賞月間

自然に発生したゲンジボタルを鑑賞

浜松市天竜区神沢字六郎沢

遠州鉄道西鹿島駅から車で30分
※駐車場あり
※環境保全協力費/中学生以上200円・小学生100円
園NPO法人夢未来くま ☎053-929-0636



4/24

東部

富士山をバックに、一面に咲くれんげの中で地元特産品が当たるお楽しみ抽選会など。第2回富士山れんげまつり

東部市民プラザから北東へ500mの農地
富士市富士岡南257-2 ※駐車場は東部市民プラザ利用
園富士山れんげまつり実行委員会 ☎0545-38-1234



4/3

西部

小國神社桜まつり

花見頃3月下旬~4月上旬
小國神社 森町一宮3956-1 ※駐車場あり
※シャトルバスあり 園小國神社 ☎0538-89-7302



4/9 12:00~15:00

中部

善光寺とたけのご祭り

善光寺とたけのご祭り 旬をはじめとする特産物の販売
布沢広場(公園)
静岡市清水区布沢 ※駐車場あり
園祭り実行委員長(片平) ☎090-3389-2842

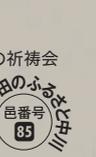


4/10 10:00~15:00

西部

龍文坊大祭「鎮守龍文坊大権現」のご神前での祈禱会

初山宝林寺 浜松市北区細江町中川65-2
※駐車場あり ※大祭当日は拝観無料
園初山宝林寺 ☎053-542-1473



4/10

西部

出店展示、ステージイベント等 あらざわふる里公園 15周年記念イベント

あらざわふる里公園
御前崎市下朝比奈158-7 ※駐車場無料・150台
園(南)グランパークあらざわ(代表 杉浦敏朗) ☎0537-85-8230

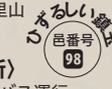


6/4 17:00~

西部

ほたるの舞美しい里山 ほたる鑑賞会

浜松市引佐運動公園(集合場所)
※浜松市引佐運動公園から無料シャトルバス運行
園ほたるの会(代表 岡部) ☎053-528-3500 (13:00~15:00)
http://hotaruinasa.hamazo.tv/



6/5

東部

ひまわり植栽

沼津市平沼375-1浮島地区センター付近 ※駐車場あり
園浮島地区環境保全推進会 ☎055-966-5495(鈴木)



4月下旬~5月上旬

中部

新茶奉納式

瀬平区の氏神(座王神社)
※座王神社に小学生が新茶奉納
園瀬平けっこにせつ会(事務局長 原田) ☎0547-56-0681



5月上旬

西部

ゆうとうやら米か 田植え体験

雄踏町地内の田んぼ
参加料/大人1,000円・小学生以下300円 ※保険料込
園吉田商店(吉田和子) ☎053-592-1034

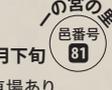


6/5

西部

花菖蒲まつり

寺尾の公衆トイレ付近 浜松市天竜区龍山町瀬尻
※駐車場は当日現地スタッフにお問い合わせください
園瀬尻ぶか風保存会 ☎053-968-0038(代表 宮沢)



5/5 祝~20

伊豆

長者ヶ原山つつじまつり

南伊豆町伊浜地内
※駐車場あり ※お茶のサービスあり
園南伊豆町観光協会 ☎0558-62-0141



4/10~5/10

西部

鯉のぼり揚げ

諸井里山 袋井市諸井1409-1付近 ※駐車場あり
園諸井里山の会 ☎0538-23-4169



4月中旬

西部

れんげつみ

嶺田用水の里 菊川市嶺田及び大石地区 ※駐車場あり
園嶺田地区環境推進委員会(会長 鈴木義司) ☎0537-73-3460



6月中旬

西部

あじさい祭り

湖西市東小学校周辺
湖西市新所680付近 ※駐車場少ない
園湖西市農林水産課 ☎053-576-1213



5/14・15

西部

オープンハウス ぷぶふの日

天方三倉地区(案内所/アクティ森)
森町問詰1115-1 ※駐車場あり 園森町ツーリズム研究会 ☎0538-85-6316(森町役場産業課)



4/16

西部

茶園ピクニック

あらざわふる里公園
御前崎市下朝比奈158-7 ※駐車場無料・150台
園(御前崎市茶業振興協議会) ☎0537-85-1125(御前崎市農林水産課)



6/19

東部

第7回金太郎産湯の里・湯船あじさい祭り

小山町湯船公民館広場 小山町湯船340-1付近
※駐車場あり ※ステージイベントや出店、夜は竹灯籠によるライトアップやホタル観賞会を予定
園小山町観光協会 ☎0550-76-5000



5/14~29

西部

渋川つつじまつり

浜松市北区引佐町渋川 ※駐車場あり
園渋川つつじまつり事務局(てんてんゴーしぶ川内) ☎053-545-0452



4/16・17

東部

春のみどりまつり

清水町総合運動公園 駿東郡清水町伏見52-17
園清水町都市計画課 ☎055-981-8224



毎月第3日 9:00~9:30

西部

恩地町みどり朝市

恩地町公会堂広場 浜松市南区恩地町443
※駐車場あり 園地域いきいき共生!恩地町環境みどり会 ☎053-426-2888(代表 見野)



5/15 10:00出発~15:00着

西部

竜ヶ石山まるごとガイドウォーク

竜ヶ石山周辺をガイド付きでハイキング
竜ヶ石山まるごとガイドウォーク
園竜ヶ石山~西四村の会 ☎053-543-0108



4/17

伊豆

お猿祭

波勝崎苑 南伊豆町伊浜714-1 ※駐車場あり
※伊勢海老の味噌汁等のサービスあり
園波勝崎苑 ☎0558-67-0050



通年

西部

竜ヶ石山ハイキングコース

竜ヶ石山ハイキングコース
園竜ヶ石山~西四村の会 ☎053-543-0605(代表 戸田)



6月上旬

中部

ホタル観賞

川根本町瀬平区の境川の川沿い
園瀬平けっこにせつ会(事務局長 原田) ☎0547-56-0681



4/17

伊豆

大賀茂れんげ祭り

大賀茂れんげ祭り 地域活性化を目的とした、住民手作りのイベント
園下田市大賀茂東海バス「金山バス停」付近の田園大賀茂地区地域振興委員会 ☎0558-22-3914(下田市産業振興課)





2016年3月1日発行
 ●発行／「ふじのくに」美しく品格のある邑づくり連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県交通基盤部農地局農地保全課 ☎054-221-2714 FAX054-221-2809



ギャラリー米 #04



〔大沢地区 邑番号 40〕

お茶の風味に息づく
 人々のもてなしに
 心身ともに癒やされる。

茶 畑と山並みが美しいコント

ラストを描く静岡市葵区大沢。風光明媚な山村に人々の声がかかります。「おばあちゃん、元気だった？」「うん、元気にやってるよ」。民家の縁側で繰り広げられる会話は祖母と孫のようですが、実はカフェとお客さんのやり取り。大沢地区では、集落全23戸の参画のもと、毎月第2・第4日曜日、それぞれの縁側をカフェとして開放しています。軒先に並ぶのは各戸が用意したお茶やお絵菜。茶産地ならではのおいしいお茶を味わいながら、地元の人たちの素朴なもてなしに触れていると気分はほっこり。明日への活力が湧いてきます。

『縁側カフェ』

静岡市葵区大沢で行われている民家開放型のカフェ。同地区の全23戸が参加し、それぞれに異なるお茶の味わいで訪れる人を魅了しています。今では1日400人あまりが訪れ、首都圏から足繁く通うファンも少なくありません。開催日は毎月第2・第4日曜日。料金は一律1戸3000円。

●アクセス／しずてつジャストライン
 (バス) 大沢人口バス停下車



平成28年5月末日までに御意見をいただいた方の中から抽選で1名の方に邑の特産品(2000円相当)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。応募先など詳しくはP17をご参照ください。



ふじのくに
 美しく品格のある邑
 Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合
 邑の詳しい情報



オフィシャルウェブサイト
<http://www.fujinokuni-mura.net>

美しく品格のある邑 検索



facebook
 ふじのくに美しく品格のある邑づくり
 情報発信チーム『邑ドキッ!』